

ナイルの流れに

カイロ日本人学校 Noboru Ozawa



H.27.5.3

No.2

カイロ日本人学校

みなさん、こんにちは！ゴールデンウィーク（GW）は、いかがお過ごしでしたか。こちらエジプトには、GWはありません。日本にいる時は、何かと慌ただしい新年度が始まって、GWでホッと一息ついていたなあと思い出しました。

さて、今日は私が勤務しているカイロ日本人学校を紹介します。その前に、**日本人学校**について説明します。日本人学校は世界のいろんな国にあり、現在**89校**あります。日本人学校に通う生徒は、**親が海外勤務になって親と一緒に現地に行く子どもたち**や**国際結婚をして現地に住んでいる子どもたち**（日本人とのハーフ）が通う学校です。日本語ができることが、入学条件の一つです。教育カリキュラムは日本の学校と全く一緒で、4月に新年度が始まり3月で終わります。授業は、**日本語**で行います。年間の授業時数は少し短いですが、日本とほぼ同じです。日本の公立学校との違いは、**小学校と中学校が併設**されていることと、**授業料を払わなければいけない**ことです。イメージとしては、**小中一貫の私立の学校**です。

このような日本人学校の一つが、カイロ日本人学校になります。1972年開校して今年で43年目になります。今年度の**全児童・生徒数は24人（小学生17人、中学生7人）**ととても少ないです。生徒数のピークは1986年で149人の児童・生徒が在籍していました。子どもたちの中には、日本の学校に通ったことがない人もいます。教職員ですが、日本から派遣されている教員が8人、他に現地に住んでいる教員が3人（日本人1人、エジプト人2人）います。事務（日本人）、用務員やスクールバスの運転手・添乗員・ガードマンなど、現地スタッフが10数名います。

授業ですが、たった1人の学年があり、複式での授業（複数の学年の子どもたちが一緒に授業を受けること）は行っていませんので、授業は教員と1対1という学年があります。授業時間は、小学生がいるため毎日45分間の6限までです。子どもたちは、**スクールバスで登下校**するので、小学校1年生も6限まであります。朝は、**7:50から朝読書**が始まり、**下校は14:30か15:00**です。スクールバスで一斉に下校しなければいけないので**部活動はありません**。給食はなく、毎日**お弁当**です。

校舎は、日本企業が建てた立派な建物で、周囲は塀に囲まれ24時間警備の方がいます。校舎は、写真のように回廊状で、**中庭は「パティオ」**呼ばれ、朝会に使ったりお弁当を食べたり、子どもたちのいい遊び場所になっています。グラウンドは別にあって、土ではなくタータン（陸上競技場で見られる合成ゴム）です。プールはありませんので、近くのホテルのプールを借りて年間11回授業を行います。学校は、カイロ市内ではなく隣のギザ県にあります。社会の歴史の教科にあるピラミッドの近くにあり、屋上からは**クフ王のピラミッド**の上部（写真）を見ることができます。

※タイトル右側のマークは、カイロ日本人学校の校章です。アラビア語でカイロ日本人学校と書いてあり、中央の三角はピラミッド、その下の線はナイル川を表しています。



学校の屋上から見えるクフ王のピラミッド



回廊状の校舎と中庭（パティオ）